

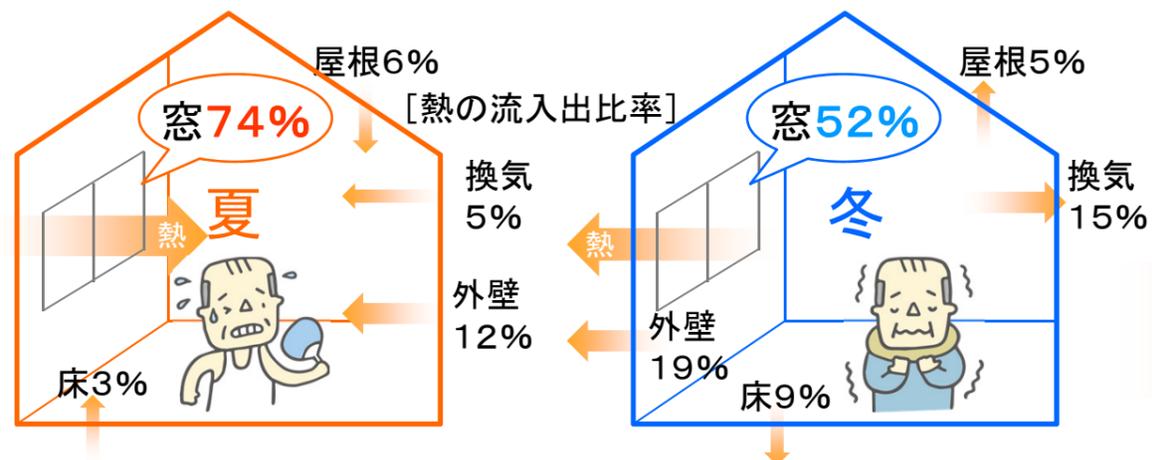
いちばん重要なのは「窓」の断熱なんです。

断熱といえば壁の断熱材と
思っていませんか？

断熱の最大の弱点は、「窓」

窓は、熱の出入りが一番多い場所。

壁と比べると夏は約**6倍**、冬は約**3倍**の差があります。



外気温: 33.4℃、室温: 27℃
8月10日14~15時(日平均外気最大日)、東京

外気温: 0.5℃、室温: 20℃
2月24日5~6時(日平均外気最低日)、東京

※「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅱ住宅」標準住戸のプランにおける例で、AE-Sim/Heatによる当社の計算結果より。窓種: アルミ(複層ガラス)
算出条件
●使用ソフト AE-Sim/Heat(建築の温熱環境シミュレーションプログラム)/株式会社建築環境ソリューションズ
●気象データ「拡張アメダス気象データ」2000年版標準年/ (一社)日本建築学会
●住宅モデル「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅱ住宅」標準住戸のプラン2階建て/延床面積: 120.08㎡/開口率: 26.8%(4~8地域)
●躯体 平成11年省エネルギー基準適合レベル

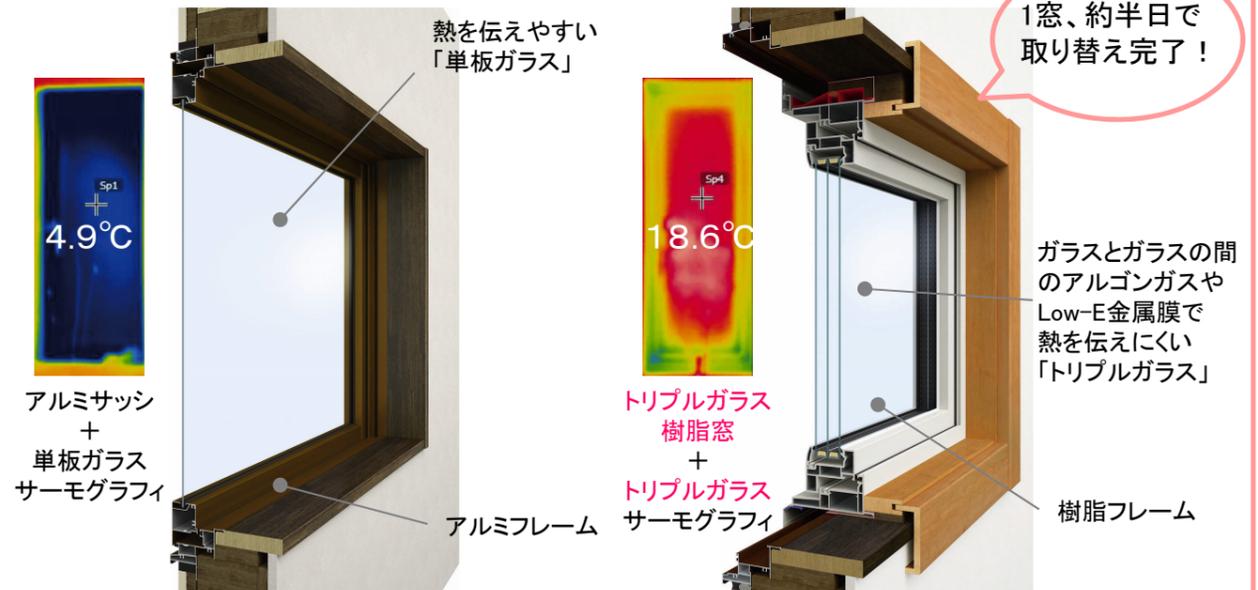
かんたん
解決

最新の窓にするだけで、家全体の快適性アップ

かんたんマドリモで、新築にも使われている最新の樹脂窓へ。

熱の出入りが大きい
アルミサッシ

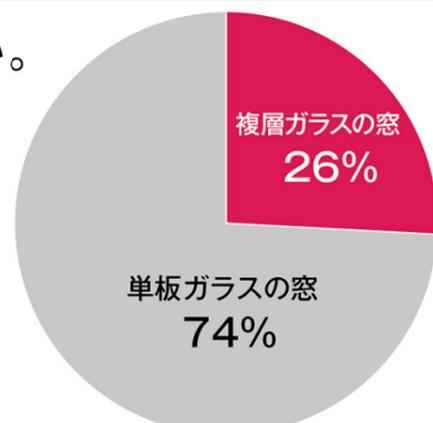
熱の出入りが小さい
樹脂窓



[サーモグラフィ撮影条件] 室外温度: -10℃、室内温度: 20℃ 東京大学前研究室 × YKKAP 価値検証センター

日本の家は、いまだ低断熱な窓が多い。

住宅建築の省エネ基準として、窓からの熱の出入りを抑える「複層ガラス」の設置が定められたのは、1999年から。この基準以前の「単板ガラス」の家が大部分を占めているのが日本の現状です。

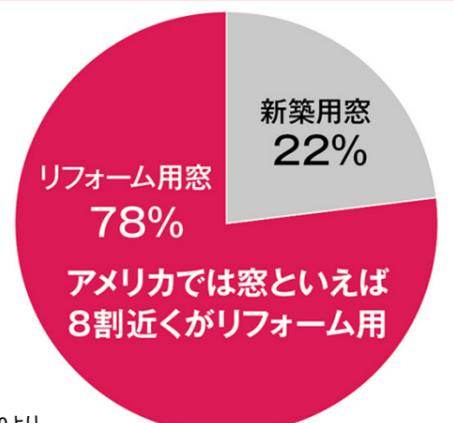


平成25年住宅・土地統計調査結果(総務省統計局)

欧米では窓をかえることはあたりまえ!

欧米では、古くなった家を取り壊して新築するばかりでなく、リフォームして長く住み継ぐ文化が根づいています。たとえばドイツでは、建設投資額のうち7割以上※1をリフォームが占め、窓などの断熱リフォームが年間約120万戸実施されています。アメリカでは住宅取引の9割以上※2が中古住宅で、リフォームして住むことが一般的。年間の窓の販売総数の8割近くをリフォーム用の窓が占めるほどです。これは、窓をかえるだけで快適性能が高まることが一般に理解されているからといえます。

※1: DIW: StrukturdatenzurProduktionundBeschäftigungimBaugewerbe-BerechnungenfürdasJahr2010より
※2: 国土交通省「中古住宅流通促進・活用に関する研究会」資料より



YKKAP社内調べ

※商品の色は、印刷の特性上、実物と多少異なる場合がありますのでご了承ください。